

花の丘病院

パブリケーション
PUBLICATION

2025. 8

春・夏

VOL.17

SPRING & SUMMER

1. 2025年 新入職者を迎えて／院長 清水 康裕, 理事長 松本 和隆, 会長 松本 隆史
2. 透析センターの取り組み紹介／透析センター
3. 花の丘病院による災害のための事前準備／防火・防災管理委員会
4. “歩けるようになる”を、もっと確実に
～ 歩行自立度判定テストで見えた成果 ～／リハビリテーション科
5. 総務部門の紹介／法人本部

2025年 **新入職**を迎えて：



理事長 松本 和隆

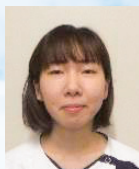
地域の未来を支える、新たな仲間たちへ

本年4月より医療法人松徳会の新たな仲間となった皆さん、心から歓迎を申し上げます。当法人は回復期リハビリテーション病院から介護老人保健施設、有料老人ホームまで、地域の皆様の暮らしに切れ目なく寄り添う複合医療施設です。患者様や利用者様が、再びその人らしい生活を取り戻すためには、職種の垣根を越えた「チームの力」が何より重要となります。

皆さんの若く新鮮な視点と熱意は、私たちのチームにとってかけがえのない力となります。多くのことを学び、仲間と支え合いながら、専門職として大きく成長されることを切に願っております。皆さんが松徳会で生き活きと輝き、地域の医療と福祉の未来を支える力となってくれることを我々は心から期待しております。

リハビリテーション科

新入職員の紹介



理学療法士 たにむら すみれ 谷村 堇玲

三重県松阪市出身です。
患者様や地域に貢献できるよう頑張ります。



理学療法士 たけうち しゅうま 竹内 柊馬

名古屋市出身の新社会人です。学生時代に培った経験を活かし、患者様の人生や花の丘病院に貢献していきたいです。



作業療法士 おのだ えみ 小野田 恵美

愛知県出身です。
一生懸命リハビリ頑張ります！



作業療法士 やぐち しおり 谷口 詩織

愛知県の豊橋市出身です。
患者さんの生活に寄り添えるようこれから頑張ります。よろしくお祈りします。



作業療法士 いいた そうたろう 飯田 蒼太郎

三重県津市出身です。カラオケ大好きです。
少しでも患者さまの役に立てるように頑張ります。



理学療法士 よしの くるみ 吉野 来海

石川県出身です。
患者さんの笑顔がたくさん見たいです。
よろしくお祈りします。



理学療法士 いとう そうじ 伊東 創性

三重県伊勢市出身です。
患者様が一日でも早く退院できるようサポートしていきます。

2025年新入職を迎えて：

「失敗」を恐れず「勇気」をもってチャレンジを

今年4月に入社されました皆様にはその後益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、現在私たちを取り巻く環境は、人口2/3激減時代に入り大きく変わりつつあります。今、この「異次元の少子化」と高齢化の進行に即した戦略の組み立てが急務となっています。奇しくも今年は「地域包括ケアシステム」の達成年度にされています。皆様の専門性と情熱が地域の皆様の信頼を支え、より良い医療、介護サービスの提供に繋がり、人が集まる「魅力ある地域の病院」になると信じています。「失敗」を恐れず、未来を切り拓き、地域に貢献出来るように一緒に力を合わせて行きましょう。



会長 松本 隆史

透析センター

新入職員の紹介



臨床工学技士 ^{たてまつ けいご} 立松 敬悟

愛知県出身です。新しい知識を取り入れ成長できるように頑張ります。よろしくお願ひします。

事務

新入職員の紹介



事務課 ^{はまぐち みき} 濱口 美紀

ローマリングより異動になり、全く業務内容が違うので戸惑うことばかりですが頑張ります。よろしくお願ひします。

2病棟

新入職員の紹介



事務員 ^{てらだ ゆうか} 寺田 友香

ラーメンが好きで、近所のラーメン屋めぐりが趣味です。



看護師 ^{とがみ ゆな} 戸上 夕菜

YouTubeを見るのが好きです。最近ではクレヨンしんちゃんをよく見ます。



看護師 ^{きただ あやみ} 喜多 彩未

ドライブと旅行が好きです。休みの日はカフェめぐりもしています。



看護師 ^{つじ さいり} 辻 彩里

映画と本を読むのが好きで休みの日はよく映画を見ています。



介護士 ^{のぎ みゆき} 野木 美幸

ネコが大好きで預かりボランティアをしています。勉強や手芸が好きです。

3病棟

新入職員の紹介



看護師 ^{みさき ようこ} 三崎 陽子

以前パートでお世話になっていましたが、今回正社員として帰ってきました。透析施設で学んだ知識を活かして頑張っていきたいと思ひます。



看護師 ^{つじ} 辻 いくみ

先輩方と協力しながら、患者様や家族様に良い看護ができるよう頑張ります！



看護師 ^{はまだ あやか} 濱田 彩花

元気いっぱい明るく笑顔で患者様と関わっていきます。頑張ります！



介護士 ^{ふたい けんすけ} 二井 健介

初めての介護の仕事ですが、病院にも患者様にも必要とされる人間になるように頑張ります。

2025年新入職を迎えて：「個性を育む」



院長 清水 康裕

ご入職おめでとうございます。

期待と不安が入り混じる中、諸先輩からの教を乞ひ、日々新たな一步を踏み出し進んでいることと思ひます。不安になるのは至極当然ですが、患者様にとっては、経験の浅い皆さんも拠り所であることに代わりはありません。まずは患者様に寄り添い耳を傾け、温かな言葉でお話をしてみてください。きっと気持ちは伝わると信じています。

自身も躓くことがあると思ひますが、自らを信じ個性を活かし育てながら、我々と一緒に、患者様の不安が解決し快方に向かえるよう支援をしていきましょう。

2022年5月に当センターが開院してから3年が経ちました。

通院していただいている患者様も60名を超え、入院患者様も合わせると70名を超えるまでとなりました。スタートアップ期を終え成長期へと入っていく段階となり当センターでは現在シャントエコーとフットケアの2つに特に力を入れて取り組んでいます。シャントとは透析を行う上で必要不可欠な血管のことで主に腕の動脈と静脈を繋いで作られた血管の名前です。

シャントトラブルを未然に防ぐ方法として現在シャント管理の主流となっているエコーによる管理を1年前より本格的に取り入れてまいりました。これにより、年十数件あったシャント閉塞も年数件と1桁台にまで抑えられるようになりました。続いてフットケアについてですが、様々な合併症が注目されている中、足に関しては特に注目されています。フットチェック・フットケアは専門の研修を受けた看護師を中心に透析センター全体で協力して行っており、月1回の定期検査と適時足の傷等のケアを行っております。患者様の健康を足からも支えていけたらと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



看護師によるフットケアの様子

災害対策の紹介

花の丘病院による災害のための事前準備

防火・防災管理委員会 清水 俊次

当院では、災害対策のための委員会として、防火・防災委員会を設置しております。当委員会では、災害時における事業継続計画(以下、BCP)の見直しに向けて検討を進めております。今年度は、災害派遣医療チーム(以下、DMAT)が主催されている災害シミュレーションに参加させて頂きました。事前準備として、被災時に必要な物資の備蓄量や、スタッフ・患者の安否確認方法等、被災時に確認・検討が必要な項目について検討しました。停電が起きた際に、必ず使用しなければいけない電気設備は何か、予備の電力としてポータブル電源がどの程度必要か、通信障害が起き、電話機器やネット環境が断たれた際に、地域の医療機関や行政との連絡は可能か等多くの課題が見つかりました。災害シミュレーション当日は、DMATと協働して、当院の患者を地域の医療機関へ搬送する計画や、地域の医療機関から当院に患者を受け入れる計画についてシミュレーションを行い、地域の医療機関との連携方法について確認できる機会となりました。今年度、当院ではポータブル電源や衛生電話等被災時にも使用できる物品の充足に向けて協議を進めております。今後は、地域の関係者との連携も視野に入れながら、災害のための事前準備に向けて取り組んでいきたいと思っております。



当院災害対策チームとDMATの連携の様子



当院災害対策チーム内ミーティングの様子

“歩けるようになる”を、もっと確実に ～ 歩行自立度判定テストで見た成果 ～

リハビリテーション科 服部 大輝

当院の回復期リハビリテーション病棟では、患者様が再び自立して歩けるようになることを目指し、日々リハビリを行っています。このたび、より客観的で効果的な歩行自立判定を実現するため、「歩行自立度判定テスト」を導入しました。

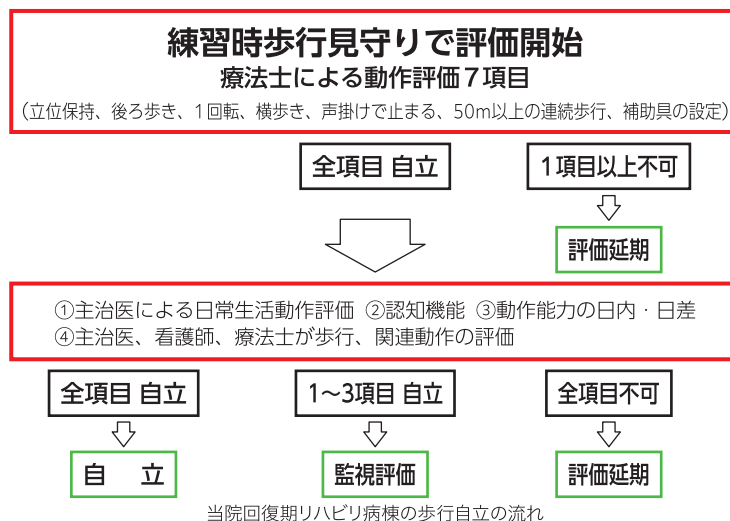
これまで、病棟での歩行導入のタイミングについては、担当スタッフの経験や判断に委ねられる部分が多く、評価にばらつきが見られることもありました。そこで、患者様の歩行能力や認知機能、日々の動作の様子、スタッフの不安感などを総合的に評価し、フローチャートに沿って判断する仕組みを整備しました。これにより、歩行の開始時期や支援の内容が明確になり、より一貫性のあるリハビリが可能となりました。

実際に、導入前(2022年4月～10月)と導入後(2023年12月～2024年6月)の比較では、歩行自立者の割合が36.8%から44.4%に増加しました。また、歩行自立後の転倒率は6.1%から3.0%に減少するなど、明らかな成果が見られました。これは、より適切なタイミングで病棟に歩行導入が可能となり、転倒のリスクを下げることに繋がったと考えられます。

スタッフからも、「判断基準が明確になった」「他職種との連携がしやすくなった」といった前向きな意見が多く寄せられています。

上記内容は、2025年2月21日-22日に開催された回復期リハビリテーション病棟協会第45回研究大会 in 札幌にて「当院回復期リハビリテーション病棟における歩行自立度判定に向けた取り組みと効果判定」と題して学会発表を行いました。

今後も、この取り組みをさらに発展させ、患者様の活動量の向上と、より質の高いリハビリの提供を目指してまいります。



知って得する！当院部門紹介：総務部門について

本部 加藤 文喜

2025年1月に新設された部署です。当部署は、法人内の労務・経理などの管理を行い、法人の本部機能も兼ね備えた重要な部署の一つです。まだ立ち上がり間もない部署ではありますが、「働きやすい職場作り」をモットーに日々活動しています。

その中の一つに業務のデジタル化の推進がございまして。労働生産性が向上し職場内外に様々なメリットを生むことが期待できます。

そこで労務管理クラウドを新たに導入しました。従来までアナログ対応でしたが、生産性の向上にも貢献できているのではないかと思います。今後も様々な場面で活用していこうと考えています。また6月2日に法人ホームページをリニューアルいたしました。とても綺麗に出来上がり、法人に関わる方々にも好影響を与えられるのではと思います。今後も「働きやすい職場作り」の為に、デジタル化の推進とともに職員の皆さんの声を積極的に吸い上げ、誠実に対処していきたいと考えています。



職員の相談に応える様子

■ 編集後記

新入職者の紹介、透析センターの取り組み紹介、当院災害対策や総務部門の紹介等、読み応えのある内容になりました。引き続き、地域に根差した保健・医療・福祉サービスを提供しその活動を取り上げていきます。

広報誌作成担当：森 優太

花の丘病院「装具外来」のご案内



- 火曜日 10:00～12:00
 - 木曜日 10:30～12:00
 - ☎0598-29-8700
- リハビリテーション科 装具係まで



- 昔作った装具を使い続けている・・・
- ベルトがボロボロになってきた・・・
- サイズが合わなくなった・・・
- 装具を使っているけど足がよく引っ掛かる・・・

そんなお悩みをお持ちの方、ぜひ一度ご連絡ください!

リハビリテーション科 清水 俊次

当院ホームページが新しくなりました!

当院のホームページがリニューアルしました! スマートフォンでも見やすいデザインに一新。外来・入院・面会情報や部門紹介、教育体制、採用情報などをよりスムーズにご確認いただけます。

アクセスも簡単! で検索

<https://www.shoutoku.or.jp/hananooka/>
ホームページにアクセス可能なQRコードとURL



花の丘病院「透析センター」のご案内

無料送迎 松阪市から周辺地域へ順次拡大中!

ご相談・ご見学はいつでも ☎0598-30-8810まで

詳しくは
透析センター
HPへ



スタッフブログ更新中!



医療法人 松徳会

花の丘病院

(発行人) 理事長 松本 和隆

〒515-0052 三重県松阪市山室町707-3

TEL 0598-29-8700 FAX 0598-29-8739

- ◎内科・婦人科・リハビリテーション科・整形外科
- 回復期リハビリテーション病棟(入院料 1) 45 床
- 医療療養病棟(入院基本料 1) 51 床
- 花の丘病院 透析センター 42 床
- ◎通所リハビリテーション
- ◎訪問リハビリテーション